



OUR HOSPITAL

くりはし

10月号

2021年 No.89



「秋の燧ヶ岳と尾瀬」 尾瀬国立公園 今井孝子

MT通信

No.105 コロナ抗体検査とは？

Information News

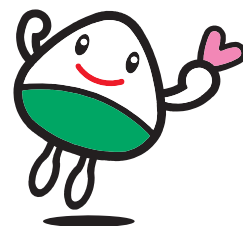
祝日の診療体制について

院長だより

ご来院の皆様へのお知らせ

地域連携医療施設紹介 / とねっからのお知らせ

Information News / さいくりHP物語



当院キャラクター
ころん



院 是



院是である“心”は、
先端医療の進歩が一段と加速されるであろう21世紀において、
医療に従事する者にとって、失うことの許されない最も大切なものと考えます。

理 念 医療現場で働く喜びを自覚し、医療を通して社会と地域に貢献します。

基本(品質)方針

1. 病院を訪れる患者さんや、その家族の心の痛みを見逃さない、心温まる医療を提供します。
2. 常に最新の医療知識と技術の修得に努め、有機的な多職種連携によるチーム医療を追求します。
3. 住み慣れた地域で、いつまでも患者さんが自分らしく暮らせるよう、安全で安心な医療を継続的に提供します。
4. この地域で継続的な質の高い医療を実践できる事業体となるため、絶えず経営改善に努めます。
5. 患者さんを大切にするように、職員も大切にします。

患者さんの権利

1. 人格を尊重される権利
2. 適切な医療を平等にうける権利
3. 医療上の情報を知る権利
4. 医療上の行為を選択できる権利
5. プライバシーを保護される権利

医療費の支払いにお困りの方はご相談ください。（無料低額診療事業）

済生会栗橋病院では、医療費にお困りの方に対し、自己負担額の減額・免除を行っています。世帯の収入額や家庭状況等を勘案し、ご相談のうえ決定します。詳しくは、福祉相談課までお問い合わせ下さい。

なでしこプランについて

済生会では、現代社会のさまざまな問題や課題に対応すべく「生活困窮者支援事業（なでしこプラン）」を展開しています。当院では、以下の3事業を積極的に行っています。

【なでしこ健診事業】

主にDARC（薬物依存症リハビリテーションセンター）の入所者を対象に、無料の健康診断や健康相談を実施しています。

【出張市民講座】

地域住民からの要望により、無料でスタッフを派遣し健康や医療についての講演を実施しています。

【医療アクセス支援事業】

包括支援センター、市、社協等と連携を行い、医療受診ができない方や、うまく継続できない方を対象に、無料で家庭訪問を実施しています。

地域生活定着支援センターとの協力について

済生会栗橋病院では、矯正施設の出所予定者で高齢や障害のため医療支援が必要な方々に対して、出所後すぐに医療が受けられるように、保護観察所等との連携により、必要に応じた医療行為の提供を積極的に行っています。

問い合わせ

済生会栗橋病院 福祉相談課 TEL 0480-55-1000（直通）

受付時間 月～金曜日 9：30～16：30（休診日を除く）



殊のほか暑かった夏も過ぎて実りの秋を迎えようとしています。2021年の夏は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催された年として、またコロナ下での開催ということで永らく記憶されることでしょう。私達医療従事者にとってはCovid-19の第5波、それまでで最悪の感染状況、として心に刻まれると思われます。

コロナ感染症は8月よりほぼ100%デルタ株に移行しています。当院で8月中旬に検査した患者さんも10例が10例ともL452Rのアミノ酸変異を伴うデルタ株でした。既に報道されているように、デルタ株は元々の野生株に比較して2～3倍感染しやすく、基本再生産数は従来のコロナ株が約2～3であったものが、5～9と水痘並みに高いと言われています。重症化しやすいかどうかについては、未だ結論は得られていませんが、感染者数が2～3倍に増えるとすれば、重症者もそれに比例して増加することは明らかです。

この重症化予防対策としては、基本的に感染者数を減らすことが大事です。これにはワクチンと人流の抑制しかないのが現状です。8月下旬の時点で当院のコロナ入院患者さんの大多数は65歳以下です。中には30代、40代の重症者もおられます。65歳以上のコロナ入院が減少しているのはワクチンの効果でしょう。一刻も早く65歳以下の方への接種が実施されなければなりません。

人流抑制も単純に考えて1/2～1/3に減らす必要がありますから、人出を40%前後にまで抑えなければ、デルタ株を封じ込めることは難しいでしょう。しかし、緊急事態宣言をはじめとする国民全体への呼びかけは、何度もとなると慣れが生じて、次第に有効性を失っていると思われます。従ってコロナ感染症を減少させる手段としては、ワクチンが全年齢層に行き渡るのを待つしかないというのが現状です。

重症化予防策に関しては有効な手がかりは無いのですが、7月下旬より中和抗体カクテル療法（中和抗体薬、カシリビマブとイムデビマブ、商品名ロナプリーブ）が使用出来るようになりました。これは発症後7日以内で、重症化リスク因子を保有する方が対象です。早期に治療を開始し、重症化を予防するというものです。対象患者さんは、酸素投与が必要となる中等症IIでは適応とならないため（かえって悪化する可能性があるため）、軽症から中等症Iの早期の患者さんに限られます。この治療を推し進めるには、対象者を効率よく発見出来ることと、中和抗体薬が十分備わっていることが肝要です。行政頼みの側面もありますが、当院としても可能な限り尽力したいと考えています。

8月下旬現在、入院要請は概ね重症患者もしくはその候補になりそうな方ばかりで、入院受け入れが叶わないケースもあります。そのように病状が進む前の段階で、治療が出来るようにしたいと思ひ方策を検討しています。そしてこの文章が皆様へ届く頃には、全人口の6割を超えるワクチン接種率になっていることを期待しています。

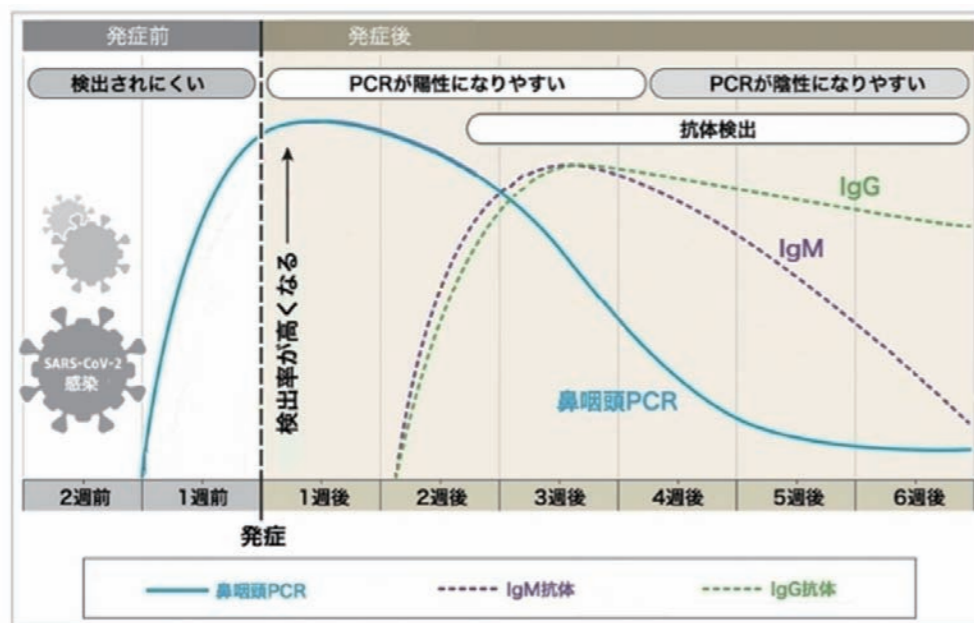
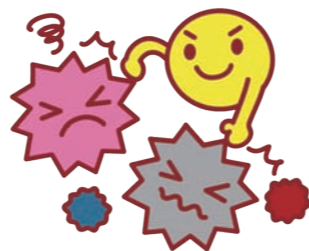
 院長 長原 光



コロナ抗体検査とは？

コロナ抗体検査は過去に新型コロナウイルスに感染していたかどうかを調べる検査です。通常ヒトの身体ではウイルスが体内に侵入すると、ウイルスを排除するために身体がタンパク質を作り出します。これが抗体と呼ばれるものです。

この抗体はIgG・IgA・IgM・IgD・IgEの5種類があり、一般的にIgMは感染して最初に産生され一時的に増加します。次にIgGが増えます。これらの抗体はオプソニン化（好中球やマクロファージなどの働きを補助）や中和作用（ウイルスの毒素を無力化）として働きます。しかしコロナのIgGやIgMは下図のように、IgMが先行せず、IgGとIgMが同時に増え始める特殊なかたちをとるケースもあるとされています。



発症からの日数とPCR検査、抗体検査の陽性率 (doi:10.1001/jama.2020.8259より一部抜粋)
<https://jamanetwork.com/journals/jama/fullarticle/2765837>

コロナ抗体検査では血液中に、この抗体が存在するかを調べます。特異抗体の産生には2～3週間程度かかるため、それ以前に検査すると陽性にならないことがあります。加えて、コロナ抗体は中和抗体であるか不明なため、抗体検査が陽性でも新型コロナウイルスの再感染の可能性は否定できません。

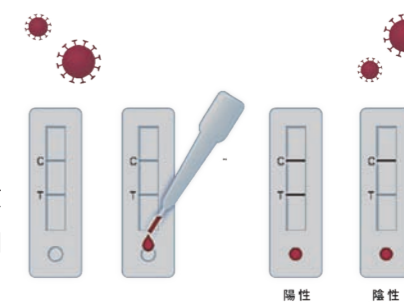
PCR検査（LAMP法）とはどう違うのか？

一方、PCR検査（またはLAMP法）は、鼻咽喉ぬぐい液を使ってコロナウイルスの遺伝子の一部を増幅し、そのウイルスが体内にいるのか、つまり今、感染状態であるかを調べる検査です。感度が高く感染初期から陽性に出ますが、特別な機器や熟練した人材を必要とし、判定時間も約1～6時間程かかります。



抗原検査とは？

抗原検査も現在感染しているかを調べる検査です。検体中に存在するウイルス蛋白（抗原）と特異に反応する物質を、抗原抗体反応を用いて反応させ、それを目視で判定する手法と自動機器で判定する方法があります。自動機器での抗原検査は手法よりもかなり感度が良いとされています。検査材料は鼻咽喉ぬぐい液や唾液で、約30分で判定可能です。



抗原検出用キットの活用について
 さらに知りたい方はこちら

[「SARS-CoV-2 抗原検出用キットの活用に関するガイドライン」](#)



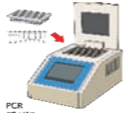



厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策本部より



ガイドラインPDF

どのように使い分けるのか？

新型コロナウイルスに感染してからの時間経過によって、検出に適した検査法を選ぶことが重要です。感染してしばらくはPCR検査が陽性に出やすく、身体の免疫が反応し抗体が作られてくる2～3週間以降は抗体検査が陽性に出やすいとされています。加えて、注意すべき点は各検査法の感度や利便性についてです。PCR検査は感度が高いですが高コストで熟練した人材が必要であり、報道の通りなかなか検査数を増やすことができません。抗体検査は今感染状態なのかはわかりませんし、採血の痛みも伴います。また様々なメーカーから抗体検査キットが販売され始めていますが、まだまだキット間の性能の差が大きい現状が見受けられます。また抗原検査は簡便ですが、抗原検出に一定の以上のウイルス量が必要であり感染していてもウイルス量が少ないと検出できないことがあります。

	意義	検体	長所	短所
抗体検査 	過去の感染の有無を判定	血液 	・約30分で判定可能 ・簡便	・キット間の性能の差が大きい
PCR検査（LAMP検査） 	今感染しているかどうかを判定	鼻咽喉ぬぐい液 	高感度	・結果報告までに1～6時間必要
抗原検査 	今感染しているかどうかを判定	鼻咽喉ぬぐい液 	・約30分で判定可能 ・簡便	・PCRに比べ、感度が低い

【 入院患者様のご家族様へのお願い 】

現在、当院の入院患者様へのご面会は原則として禁止とさせていただきます。生活必需品および洗濯物等を入院患者様に届ける場合については、以下の時間に限定させていただきます。大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

入院患者様へのお荷物のお預かり時間

14時～16時

担当窓口	平日・祝日： 正面玄関 総合案内
	土・日： 救急外来入口 防災センター警備室

※上記の時間以降は翌日の取扱いとなりますので、ご注意下さいますようお願いいたします。

※現金、食品（惣菜、果物など）のお届けはご遠慮下さい。

職員リレーエッセイ

くいはしの輪

思い出の鉄道路線

列車に乗ること愛好する人たちを乗り鉄と呼ぶようですが、自分が乗車した鉄道路線の中で印象に残っている鉄道のはなしをしたいと思います。

1983年（昭和58年）5月、当時大学生だった私は廃線になる鉄道路線があることを知りました。最終運行日である5月31日が、午後から休講となったため、その路線に行ってみることにしました。熊谷駅で切符を買い、終点の妻沼で降りると写真を撮影したりする方々にぎわっておりました。翌日から運行がなくなってしまうのは、言いようのない切ない気持ちになったのを覚えています。熊谷線は戦時中に軍事工場のあった熊谷市と群馬県太田市を結ぶため、利根川を超えるための橋脚が設置されます。しかし戦況の悪化に伴い鉄橋は設置されずに橋脚のみ残ったまま終戦を迎え、赤字路線だったため廃線となります。



利根川に設置されていた当時の橋脚

廃線の路線がある一方で、新たに開業した路線もありました。1986年（昭和61年）10月に開通した野岩鉄道です。この路線は1966年（昭和41年）5月に工事着工、山にトンネルを通し20年を要して完成した路線です。開通した頃に、この路線に友人を誘い乗車しました。トンネルをいくつも抜け、福島にはいると、古き田園風景的な日本情緒あふれる車窓を満喫した思いが蘇ります。

今はコロナ禍ということもあり遠出もできない状態ですが、状況が改善したら会津鉄道（野岩鉄道）にでかけたいとおもっています。

用度管財課（施設担当） 新井 良一

いけざわ医院

登録医番号 192



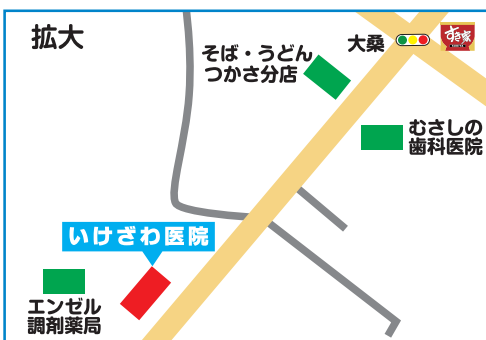
生澤 哲朗（いけざわ てつろう）先生 生澤 澄江（いけざわ すみえ）先生

貴院には、いつも大変お世話になっており、有難うございます。

当院はかかりつけ医として、お子様からお年寄りまで幅広い年齢の方に、よりよい医療を提供したいと努めております。また他の医療機関とも密接に連携させていただき、患者さんのニーズに合った最適な治療を提案させていただきたいと思っております。

丁寧でわかりやすい説明や、いろいろな相談がしやすい環境を作り、皆様の変わりない日常生活を支えられる様な診療を心がけております。

標榜科目	内科、消化器内科、循環器内科、小児科
受付時間	午前 8:30~12:00 午後 15:30~18:00
休診日	木曜午後、土曜午後、日曜、祝日
住所	加須市南篠崎141-5
電話番号	0480-65-8165



「とねっとからののお知らせ」

救急搬送に活用される「とねっと」に参加しましょう! 参加費は無料です。

「とねっと」に参加されている方は、現在 34,800 人強です

「とねっと」の活用のひとつに、救急隊（救急車）が、現場で「とねっと」を活用し、済生会栗橋病院などへの迅速な救急搬送（累計 3,592 件）に役立っています。

■救急搬送の活用事例

① 82 歳、女性、硬膜外血種

「とねっと」加入者のため、病院へ収容依頼する際、服用薬や既往歴などの詳細情報の申し送りができた。

② 52 歳、男性、急性心筋梗塞

本人からとねっと加入を聴取し、病歴・かかりつけ医等を把握、スムーズに収容先病院の決定、医師などへの申し送りができた。

詳しくは「とねっと」事務局（☎0480-63-0003）まで。

とねっとホームページ <http://www.saitama-tonet.jp/>





作画 ロビタ

祝日の診療に関するお知らせ

2021年4月1日から2022年3月31日までの間、**国民の祝日**につきまして、**外来診療および人間ドックを休診といたします**のでお知らせいたします。

患者様におかれましてはご不便、ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

＜人間ドック・健康診断に関するお問い合わせ＞
電話 0480-53-0575（健診センター直通）
平日（月～金曜日）10:00～16:00



＜埼玉県済生会加須病院建設状況＞2021/8/25

北側外観 病院のサインもできました！！
写真ではわかりにくいですが遠くから見ると確認できます。



発行 埼玉県済生会栗橋病院 
〒349-1105 埼玉県久喜市小右衛門714-6
TEL:0480-52-3611 FAX:0480-52-0954

受付時間 月～金 8:00～11:00 予約診療の方は 8:00～16:30
※診療科により異なりますので、各科の診療日程表をご覧ください。
※紹介状のない患者さんは初診時選定療養費5,500円(税込)がかかることがあります。

休診日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)
休診日・夜間は救急対応となります。受診に際しては、事前に電話でご確認ください。

診療科 内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、神経内科、糖尿病内科、漢方内科、血液内科、循環器科、小児科、外科、呼吸器外科、乳腺外科、内視鏡外科、心臓血管外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、救急科、放射線科、麻酔科



<https://www.saikuri.org/>